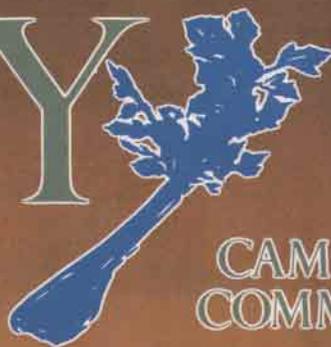


# CELERY



No.14  
1993

CAMPUS  
COMMUNICATION



中村学園大学・中村学園短期大学／広報

# 卒業生の皆さんへ

— 出会いを大切に有意義な人生を —

学長 山元寅男

常に未知なるものに対する好奇心を失なわないで下さい

中村学園大学ならびに短期大学を本年卒業される皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。また、大学院修士課程を修了し、最終試験に合格され修士(栄養科学)の学位を得られました諸君、おめでとうございます。

皆さんが希望に満ちて、本学に入学されてから四年、あるいは二年が過ぎました。

この間、皆さんは、学園中村ハル先生の建学の精神に沿った、厳しい、また、充実した教育を受けられ、それぞれが専攻とする知



識と技術と専門家としての態度、あるいは、人間としての豊かな心を学ばれました。学生の身分としての学業に精を出され、その努力の甲斐があつて無事卒業されたのであります。心からお祝い申し上げます。皆さんがこれまで学び習得された知識や技術は、それぞれの専門分野のきわめて基礎的なものであります。これから実社会に出られて、存分に活躍されるための骨格をなす大事なものはかりです。この骨格に肉を付け形を整えて、一人前の専門家として社会的に認められる努力がこれから必要です。学問や技術は日進月歩で、新しい知識や技術を十分に消化し自分のものとして吸収し、身につけるためにも、生涯にわたり学習する態度が求められます。「全ての人間は生まれながらにして知ること欲する」というアリストテレスの言葉を挙げるまでもなく、皆さんは常に未知なるものに対する知的好奇心を失うことなく、絶えず新しい知識や技術の習得に努力して

欲しいと思えます。学園中村ハル先生の遺された「努力の上の花が咲く」という言葉を、実社会への門出に際し、今一度噛みしめて欲しいと思えます。自己研鑽の態度と努力を忘れないで下さい

皆さんが本学に学ばれた期間には世界の情勢は激変しましたし、国内的にも経済情勢の悪化に伴う種々の社会的変動がありました。これらの変化を受けて、皆さんのこれからの社会生活にも厳しいものがあると思えます。ご家庭や大学という特殊な恵まれた環境の中の生活とは異なり、何もかも自立の心がなければ、社会の荒波を乗り越えていくことは困難であるうかと思えます。強い意志と明確な目的意識をもって、これまで研かれた知性と豊かな人間愛を十分に生かされて、社会の人々から敬愛され、信頼される専門家となつて欲しいと願っております。常に自己研鑽の態度と努力を忘れることなく、自分の仕事に励んで頂き

たいと思えます。

皆さんはこれまで「学生」という、いわば、社会的にも特別な位置づけとして認知され、ある意味では甘えも大目にみられてきました。しかし、これからは社会組織の歯車の中に否応なしに組み込まれていくわけです。多くの周りの方々との協調や助け合いも大切であります。他人の気持ちがかかる、そういう人になって頂きたいと思えます。

皆さんは、学内の授業や実験・実習において先生方から知らず知らずのうちにそのような心や態度を学ばれたと思えます。また、学外の実習等において皆さんが、出合った多くの人々とのふれ合いを通して学ばれたことと思えます。学生時代に出合った学友との忘れ得ない友情の中にも、そのような心と態度を見出すことができましょう。社会の中で一人孤立して生きることは、人生を空しくしてしまふでしょう。これから人との出会いを大切に有意義な人生を送ってください。

本学を卒業された先輩の皆さんは、社会のあらゆる分野で高い評価と深い信頼を受けて活躍しておられます。このような素晴らしい先輩の仲間入りができる喜びを胸に、本学に学んだことの誇りと、これまで習得した知識と技術と豊かな心と態度に自信をもって活躍下さるよう切に願つて止みません。

## 私の卒業式 山元寅男

編集部から「卒業写真を」と依頼された。何しろ40年も昔のことで、やっと探し出した当時のアルバムから復写した。私共の時代、卒業式というのはなく、九大医学部では「学士鍋」というブタ汁を食べながら、先輩共々卒業(当時は卒業とは言わず学士試験合格と言った)を祝った。その時の写真で、新卒業生は皆赤線3本入りのタスキをかけたものである。写真中央が私である。



# 卒業が近づいている。と、研究テーマは教えてくれた。

学生生活もどうやら終わりに近づいたようだ。ひとつのテーマにこだわって、柔軟な発想力とねばり強さでカタチのあるものにまとめあげた論文を、卒業していくあなたたちは誇りに思っている。ひとつのことを成し遂げるために、これだけのエネルギーを費やした学生生活をあなたたちは自慢している。平成4年度卒業論文・卒業研究テーマから

### 大学院栄養科学研究科

日本人若年正常血圧者におけるマグネシウム経口負荷の血圧ならびに血圧関連因子に及ぼす影響  
血漿たん白質の乳化特性とそのアイスクリームへの有効利用に関する研究  
二十歳代女性の最大酸素摂取維持目標値について

### 食物栄養学専攻

香辛料辛味成分の心臓生理作用植物タンパク質の栄養  
低周波電場による光合成の促進植物のグリコシダーゼ  
適応のメカニズム からだの部分と全体の考察  
毛髪中のDDE(農薬DDTの代謝物)分析とその栄養学的意義  
トランス脂肪酸の応用と実際  
高血圧疾患に関連するアルドステロン合成酵素の研究  
ラット肝臓上清画分のペプチダーゼの精製と性質  
大量調理における調理法の研究  
現代家庭料理における調味料・香辛料の使い方  
競技スポーツ選手の栄養のコンディショニング  
郷土における伝承文化についての研究(主として久山町)  
糖・脂質異常を伴う肥満者の判別について

### 管理栄養士専攻

高圧処理における食品の物理的及び組織学的変化と食味評価  
久山町における栄養疫学調査  
鮮魚及び魚加工品中のヒスタミンの定量  
食塩の摂取時間帯が24時間血圧並びに日周変動に及ぼす影響  
腸管吸収に対するペプチドホルモンの影響  
家庭科における消費者教育の研究・環境問題の教材化  
(発表総数二十六テーマから)

### 児童学専攻

現代女性の職業意識と共働き子育てについて  
幼児画の発達性要素の分析的研究  
モーツァルトの生涯 父レオポルトとの関わりについて  
中田喜直の子どものうた  
親子関係と孤独感について  
女性の社会進出とこれからの保育所のあり方について  
韓国の幼児教育  
子どものテレビ視聴に対する親の評価と対応について  
高祖神社(穂波町)の式年祭と神楽  
源氏物語研究 紫の上を中心に  
ミュージカル研究 観劇した作品を通して  
幼児のための運動教育について  
身近な環境問題について  
女子学生のストレス解消法に関する研究  
家庭教育(しつけ)の実態と意

識に関する調査研究

### 児童教育学専攻

ゴミの再利用の調査研究  
児童の身体意識について  
小学生の心身の不調についての一考察  
コンピュータを利用した教材開発  
身近なものが心の栄養 チープな日用品を使った造形研究  
青年期における友人関係と孤独感について  
教師のリーダーシップが児童の内発的学習意欲に及ぼす効果  
私達の生活を支える自然環境の現状 水環境を中心に  
小学校における学級編成に関する研究  
青少年の非行について 学校教育における指導を中心として  
絵本の読み聞かせについて  
教科書における民話教材の意義とその取り扱いについて  
型にとらわれない音楽教育  
生涯スポーツをめざす体育科教育に関する研究  
「関心・意欲・態度」を育てる理科指導のあり方  
子供の心の健康と親の養育態度  
(発表総数九十六テーマから)

単純な憧れが出発点

かつこいい制服を着て、高い給料を買って、その上会社のお金で世界中を旅行できるんですから、女の子だったら誰でもスチュワーデスに憧れますよね。

ほとんどの人はそれを夢で終わらせたかもしれないけれど、私は今日まで持ち続けてきたんです。小学生の頃テレビで見たスチュワーデスに、どんなことをしてても、きつくなるうって……。だから中学生の時には、もう「How to スチュワーデス」みたいな本をいろいろ読みましたし、高校時代には、就職試験ではどんなものが出されるのかも調べていました。

スチュワーデスってというと、まず英語の勉強と思われるかもしれませんが、私も、高校の時から英語の勉強を続けていますが、それだけではなく、幅広い知識が必要とされるようです。新聞は毎日読んでいます。家では西日本新聞しか取っていません。(本学の)図書館で朝日・毎日・読売・日経の全部に毎日目を通すように心がけました。

## 私の就職活動

短期大学  
家政科 消費経済コース  
2年 挽地 里美  
(九州国際サービス 内定)



空港のカウンターで見かけたら声をかけて下さいね。

## 「スチュワーデス物語」に憧れて

あなたは自分の夢に、かけられますか？

五・五センチ

とどかなかった

うではありませんが、「スチュワーデスになりたい」ということについては徹底していました。憧れの制服を着ている姿をいつも想像していましたし、友人や家族には、いつも自分の夢を語っていました。ですから、みんながいろいろな情報を教えてくれたし、協力してくれました。これがすごく励みになりました。

採用試験では、面接していただいた方に褒められたことが二つあります。一つは「ひたむきなところ」だそうなんです。きつと小さい時からの夢を持ち続けているのがよかったんでしょう。もう一つは「笑顔」。私は開放的な性格だし、明日死んでも後悔しないように、毎日を充実して暮らしたいと思っているのが、表情に出るのかも知れません。自分では気付かなかったのですが……

すが、なかなか実現できないものなんです。これだけ思い続けてきたし、絶対スチュワーデスになれると自信もっていたんです。でも、たった一つクリアできないものがありました。「五・五センチ」スチュワーデスの基準に身長が足りなかったんです。百万円だしてもいいから五・五センチ背が欲しい。心からそう思いました。

までに、インタープリター(機内通訳)の資格にチャレンジしたいと思っています。なかなか難しい資格のようですが、飛行機に乗れたらいいなって。五・五センチがひよっとしたら、私の別の人生を開いてくれるかもしれませんね。

### 夢実現への3ポイント

もし、私の経験が後輩の皆さんに役立つとしたら、三つだけアドバイスしたいと思います。一つは「具体的な目的を持って勉強すること」。私は、短大の成績は決してよくありません。でも自分の将来を決定するために必要なことは、徹底的にしましたつもりです。

二つめは、「自分という人間をよく知る」と。可能性を信じ、自分を好きになることは、自信につながります。三つめは、言うまでもないことですが、「努力すること」。私は、よく同級生から「憧れの航空会社に就職できていいね」と言われます。でも、これは私がこんなに努力してきたからだと信じています。案をして良い仕事につけるはずは無いと思います。

どつが、皆さんも中途半端に妥協すること無く、自分で納得のできる就職活動をしていただければと思います。

## 私は栄養士一年生

◎食べる人の気持を考えたい

## 卒業生レポート

恵光会 原病院  
管理栄養士 芹田 恵里子さん



芹田(旧姓稲葉)恵里子さんは、昨春、食物栄養学科管理栄養士専攻を卒業したばかりの新人病院栄養士。中学生の時、幼馴染が小児糖尿病にかかったのがきっかけで、栄養士という仕事を目指した芹田さんにとって病院栄養士というのは、まさに望んで得た職業

であった。しかし、実際に働き出してからとはまどうことも多く、正直に言えば「やめよう」と思ったことが何度もあるという。一番気を使うのは人間関係。病院には医師、看護師、調理師、事務職員と様々な立場の人が働き、そして患者さん

がいる。管理栄養士として働くうえで、大学で学んだ知識や教養はとて大切。でも、職場では「大学卒」という学歴よりも、それぞれの仕事の立場を理解し、自分から溶け込んでいこうとする気持ちが一番大切だということを知った。

さて、カルテや検査値を見て、患者さん一人一人にあった献立をつくるなかで、今一番心がけているのが患者さんとのふれあいである。それは作る人の顔を知り、食べる人の顔を知る中で生まれるお互いの信頼関係が、栄養士と患者の間でも必要と考えたからだ。すれちがう患者さんそれぞれに大きな声で挨拶をすることは、そのひとつの例である。

挨拶については、こんなエピソードがある。患者さんの中に、彼女がいくら声をかけても無反応の人がいた。それでも挨拶をし続けたが、やはり何の反応もない。しかし、わずかに嬉しそうにも見え

る。……ある日、いつものように声をかけたところ、びっくりするような反応が返ってきた。手紙をもらったのだ。それには「いつもやさしく挨拶をしてくださってありがとうございます。あなたはいい娘さんです。これからもよろしく。」と書いてあった。胸がジーンとした。後でわかったことだが、その患者さんは話すことが不自由だったらしい。芹田さんは、それからもいつものように患者さんに声をかけ続けている。返事は無いが、患者さんが喜んでくれていることがわかる。栄養士として、ひとつ殻を抜けたような気分がしたそうだ。

「栄養士というのはボランティア精神がなければやっていけない大変な仕事だと思います。私の目標は一人でも多くの患者さんに、自分の存在を喜んでもらえる栄養士になることです。」

タイム・テーブル(日動編)

8:50	職員朝礼(体操)
9:00	給食室での朝礼。前日の食事の変更(例:○○さん 高血圧ごはん↓カユへ)、入院、退院の連絡。献立の説明。一日に使用する乾物、調味、米を計算、計量。病棟からの食事伝票を見て、一日の食数をだす(例:糖尿病○人、肝臓食○人……等)。献立作成、コンピュータ入力、日計表作成、在庫管理、在庫管理。栄養指導(主に外来患者)
11:00	託児所のお弁当作り。
12:15	配膳
12:30	食事・休憩
14:00	翌朝使用材料の用意。発注。献立作成、コンピュータ入力、日計表作成、在庫管理。栄養指導(主に入院患者)。
15:30	休憩
16:00	残っている仕事の整理
18:00	

## 健康生活のスメ(11)

食物栄養学科・食物栄養科  
講師 今村 裕行



現在、我が国の死因は一位が癌、二位が心臓病、三位が脳血管疾患となっている。これらの成人病の危険因子には、高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満などがあげられているが、運動を行うことによって、これらの危険因子を減少させることが実証されつつある。また最近の疫学的検査や臨床的研究によれば、全員持久力の指標となる単位体重当り最大酸素摂取量(酸素を体内に取り込む能力の最大値のことで、以下VO2max/wtと呼ぶ)が一定水準以上の者は、以下の者に比較して、これらの危険因子の保有率が顕著に低いことが明らかにされつつある。

このような状況下で、厚生省は「健康づくりのための運動所要量」を平成元年7月に発表した。その内容は、まず性、年齢別にVO2max/wt 維持目標値を設定し、それを獲得、維持するために必要な胃酸運動の強度、頻度、時間などを示したものである。

20歳代女性のVO2max/wt維持目標値は35ml/kg・分となっているが、昨年、本学的女子学生約150名を測定したところ、維持目標値を上回った者は10%に満たなかった。私は以前約200名の中高年女性を測定したことがあるが、中高年女性でさえも、維持目標値を上回った者が約25%みられた。これらの結果から、本学的女子学生の体力不足が明らかである。

厚生省はVO2max/wt維持目標値を獲得、維持するために、20歳代女性では運動中の心拍数が130拍/分程度の軽い酸素運動を毎日20分以上、週180分以上行うことを勧めている。

学生の皆さん、毎日少しずつでも運動を始めて下さい。健康運動の理論や方法について知りたい方は、健康増進センターを気軽に尋ねて下さい。

子供だからとあなどれない

小学校教育実習

子供の数が減少し、教員採用試験も年々難しくなっている。それでも「教師になりたい」という学生は多い。いったい、教師の魅力って何だろう。

そこで、漠然とした夢がしつかりした目標に変わるといいう小学校教育実習の四週間を、児童教育学専攻三年生へのインタビューと実習ノートをもとにシミュレートしてみた。

第一週

初日、子供たちとつまづくときあっていけるだろうか、不安を持ちながら教室へ。指導担当の先生からクラスの子供たちに紹介される。好奇心に満ちた眼に見つめられて面映ゆい。

この週は、指導教諭の授業を参観したりホームルームを受けもったりして、少しずつ学校に、そして子供たちに慣れていく。

第二週

クラスの子供たち全員の顔と名前が一致するようになり、性格もつかめるようになった。今週からいよいよ実際に授業を担当させてもらう。教壇に立った瞬間、子供たちの視線を感じる。まるで、一挙手一投足を試されている気分。一生懸命に練った指導案、発問計画、板書計画も、子供たちの予想外の質問や答えに動揺して授業

がメチャメチャになることも。しかし、落ちこんでしまっただけはない。ここをどう乗り切るかがポイントだと自分に言い聞かせる。指導の先生の助言を有難く感じる。

授業で一番難しいのは「ことば」。同じ日本人なのに、何げなく使う単語が通じないこともしょっちゅうだ。子供たちのボキャブラリーに合わせた発問をしないと、きょとんとした顔をされ、クラスがシーンとしてしまう。

第三週

この週になると授業進行も少し落ちついて出来るようになる。発問のポイントなども少しわかりかかってきたが、それでも毎日毎日が真剣勝負。ちよっと油断して板書の字を間違ったりすると、すごい指摘が飛んでくる。ひとつひとつの出来事に、教師

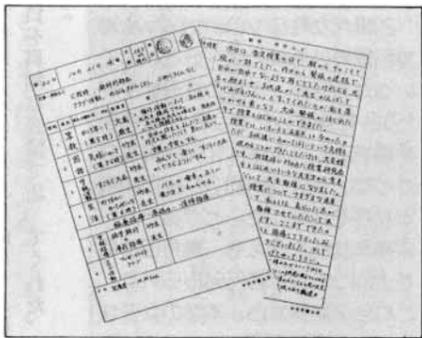
という仕事の「重み」と「喜び」を感じる。でも、まだまだ「教師って何だろう」の答えがみつからない。

第四週

いよいよラストウィーク。実習生にとって、最も重要な査定授業がある。指導教諭をはじめ数人の先生に、授業のしかたや内容をチェックされる。朝からそのことで頭がいっぱい、心臓が飛び出しそう。

子供たちもただならぬ緊張を感じてくれたのか、「先生がんばって！手を挙げてあげるから」と応援してくれる。この励ましに少し落ち着きを取り戻した。子供たちの協力のお陰で、これまでになりに活気に満ちた授業となった。みんなに大きな花マルをあげたい気分だ。

こうして、アツという間に四週間が過ぎる。最後の日、今日で終わりかと思うと、別れがづらい。子供たちはお別れのセレモニーをいろいろ考えていてくれた。思わず涙がボロボロとこぼれてきた。



実習ノート

実習こぼれ話

実習の間ずっとポニーテールにしていたら「馬」というアダ名をつけられた。小学校の給食はとってもおいしい。

子供を抱き上げ「高い高い」をして、床に降ろしたら泣き出した。どうも、プロレスの技がはいった手こたえが……。

小学校四年生ぐらいの女の子から「先生はいいね。胸が大きくて」と、つらやましがられた。生まれて初めてそう言われて、大変嬉しかった。大きな声では言えないがイモ掘り遠足の時、青い顔をしてたのは二日酔いだったから……。

女子がカエルを見てキャーキャーとうるさい。平気なふりをして、カエルを移動させた。先生「すごい」と、尊敬を集めてしまった。それからはカエルが出没するたびに助けをもとめられた。本当はカエルなんて大っ嫌いなのに。トホホホ……。

六年生の男子が「先生の彼氏はシブいおじさん」と言いふらしている。それは父です。本当です！

ら、病気回復のための治療食の献立を立案する。この他、院長回診に同行したり勉強会に参加したり、病院実習ならではの体験がある。こうして実際に栄養士や管理栄養士の業務を体験すると、クリエイティブでやりがいのある職種であるということがわかる。栄養士の工夫ひとつで、例えば配膳プレートにメッセージカードをつける。食事の時間を演出できるのだ。実習の前と後では栄養士に対する認識が大きく変わるといえる。

栄養士や管理栄養士の立場は病院によって様々だ。実習後の情報交換では、その格差に驚くことも多い。「職業」として栄養士を考える時、これらの情報は貴重なストックとなる。実習先は、希望調査をもとに調整が行われる。その際、学生の間で各実習先の一部の実態が噂として流れることがあるが、そういうことに左右される必要は全くないということをつけ加えておく。

綿密でクリエイティブ 病院給食実習

病院給食実習は、病院の規模等によって内容が大きくちがう。ここでは、食物栄養学専攻三年、恒松直子さんと、管理栄養士専攻三年、一木千代さんの実習を参考に、どんなことを勉強するのか、その一例を紹介しよう。

治療食の現場実習

実際に厨房に入り、常食や特別食を作る実習である。ドクターと栄養士との間で検討のうえ作成される約束食事を基に、主治医は入院患者一人一人の病態に合わせた食事の種類を、栄養士に依頼する。ここから患者さんへの給食は開始される。

特別食は、糖尿病、潰瘍などの症状によって、エネルギー、タンパク質、脂質等がコントロールされており、その調理は複雑で注意を要する。栄養士の作成した献立を基に、治療食担当の栄養士と調

理師の協力で、給食は食事時間にあわせて作られる。栄養士と調理師の信頼関係の大切さを学ぶのもこの実習だ。さすがに調理師さんの技術や要領は手ぎわが良い。患者への栄養指導

栄養指導は患者さんと直接ふれあえる機会でもある。糖尿病の栄養指導では食事療法について説明するのだが、最初は何かから話していいのかと、戸惑ってしまう。レポート用紙に指導事項をびっしり書いておいても、いざとなったらうまく言えない。「単位」の説明には図や表、ある

いはフードモデルを使って視覚的に行うことが有効だ。「伝える」ことの難しさを実感する反面、患者さんと接することによって栄養士という仕事に意欲が湧き、刺激になる。

病院内での諸調査

自作のアンケートを持ち、各病室を訪問。患者さんの嗜好状況を記録し、感想や意見を聞く。家庭の料理よりも美味しいと言う人、歯が弱り肉より魚がいいと言う人、年寄り、魚の骨を除いて欲しいという人、子供向けの食事が欲しいという中学生、直接話を聞くことはとても参考になる。アンケート用紙に「頑張れ」と書いて下さった患者さんもある。

治療食の献立立案

特別食というのは制限が多い。その中でいかに美味しく食べてもらうか、献立作りにはいつも頭を悩ます。残菜調査などをして、患者さんと意見を交わし、最大限その患者さんの嗜好を尊重しながら

子どもの心(11)

児童学科・幼児教育科 助教授 小山 逸雄



「先生、遠足で分けてもらった卵焼きは、うまかったあ。」 「Mさんからもらった卵焼きも、うまかったねえ。」

小学校卒業以来、39年ぶりに同窓会に顔を見せたU君のことは。私は、しばし声も出なかった。

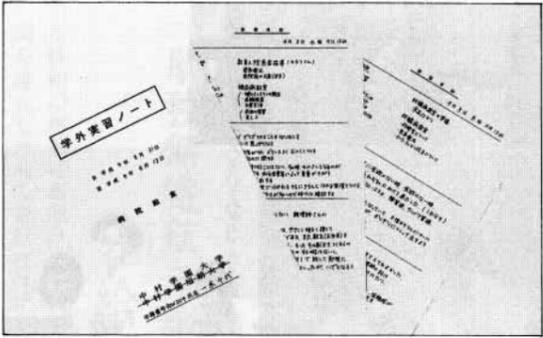
U君は、初任以来3年間担任した学級の一人。彼は、少年時代、今の社会では想像もつかない厳しい生活を送った。中学校卒業と同時に中京地方に集団就職、その後縁あって鉄工所経営者に見込まれて養子として迎えられ、現在のパブルはじけにもかかわらず順調に営業しているとのこと。

この39年間、彼が卵焼きの味を保ち続けることができたのは、厳しかった人生の中において少年時代の子どもの心が、本人の意識に関わりなく育まれていたからに違いない。私には、少々老け始めた彼の顔が39年昔の幼な顔に見えてくるのであった。50名の同級生の中に混じり合った子どもたちの輪に支えられて。

ほんとうに仲の良い楽しい学級和やかな子どもたちの集まりであった。このことが、そのまま子どもの心を持ち続けて成長してきたのではないかと思いたくなる学級であった。

今後も3年毎に同窓会が実施されることになった。その度に私の心の中にドラマが展開されることであろう。そのテーマは「子どもの心」である。これを求めるのは、私だけの感傷かもしれない。

人間は、だれしも、いくつになっても子どもの心は失ないたくないものである。



実習ノート

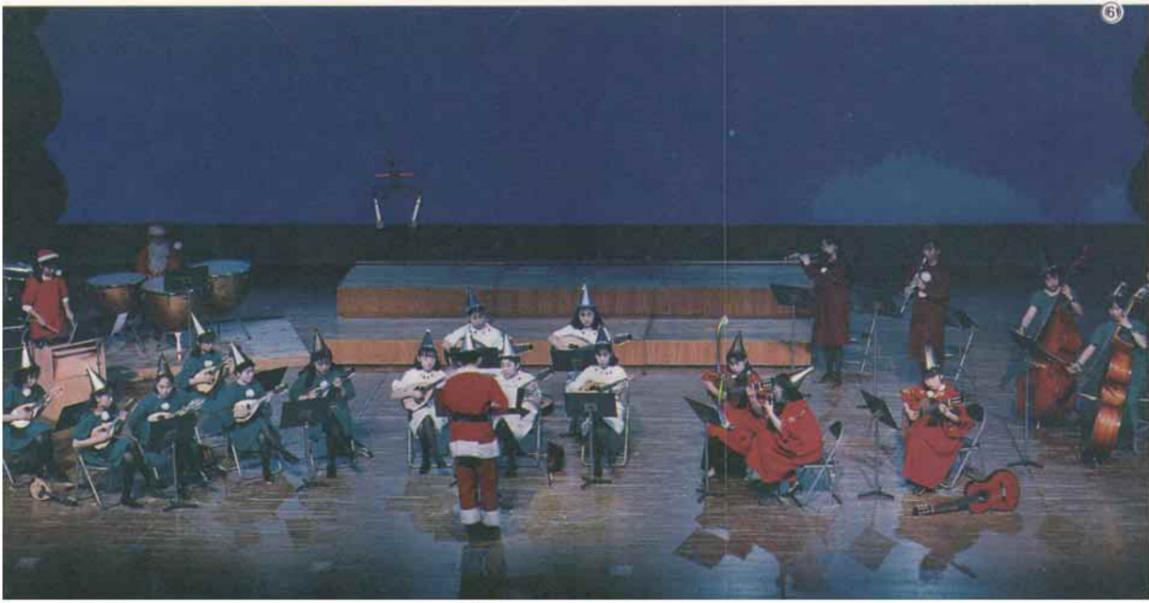


# 定演

## Watching



①漫画研究愛好会イラスト展示会 ②華曲部定期演奏会  
③軽音楽部クリスマスライブ ④三好隆三教授ホルンリサイタル  
⑤演劇部定期公演 ⑥マンドリンクラブ定期演奏会  
⑦クリスタルハーモニー定期演奏会



### 単独無寄航ヨット世界一周 今給黎さん講演



女性初の単独無寄航ヨット世界一周を達成した鹿児島県在住のヨットウーマン、今給黎教子さんの講演会が二月十七日、西一号館大講義室で催された。テーマは「夢追い人の航海」。学生、教職員

ら約三百名が今給黎さんの貴重な航海体験談に、約一時間半吸い込まれるように聞きこらっていた。今給黎さんが世界一周の航海に出たのは一昨年十月。愛艇「海運」には万全の装備をしているとはいえないものの、大海原ではほんの小さな舟にすぎない。艇が倒れるほどの大しげや、風速五〇メートルのハリケーンに遭遇したり、冰山にぶつかりそうになる度に死ぬことを考えたそうだ。それほど

も、孤独感からくる精神的なプレッシャーの方が怖かったとのこと。自然の中に一人居ると、神の存在すら信じなくなるという言葉には、大きな困難を一人で切り抜けてきた人の威厳さえ感じた。一言一言ゆっくり噛みしめるように語る今給黎さんは、最後に「世の中には役に立たない人はいない。人にはそれぞれ与えられた役割があり、私の場合は、それがヨットに乗ることでした。夢・目標を持って頑張り自分の世界を築いてほしい」と学生にメッセージを残された。



### 学園祭収益金を寄託

十一月六日から八日にかけて行われた学園祭は、盛会のうちに幕を閉じた。三日間ともおだやかな晴天に恵まれ、屋外天幕のバザーも例年になく人出で賑わった。特に最終日に行われた福山雅治コンサートには、夜も明けぬうちからファンが並び実行委員をあわてさせた。

一方、この学園祭では教職員や学生が不用品を持ち寄ってチャリティオークションが開かれた。収益金は十万八千八百五十円。昨年に続き金額を十一月二十日、西日本新聞社に雲仙災害救援金として寄託した。



右・熱唱する福山雅治  
左・ミスキャンパスに選ばれた短期大学食物栄養科一年生 長友真由美さん

### アジア栄養科学 ワークショップ終わる

十一月十一日に、西一号館十階大講義室で開催された第一回アジア栄養科学ワークショップ(主催 栄養科学研究所)には、学内外から約三百名の聴衆が詰めかけた。

第一部では長崎大学医学部の竹本泰一郎教授ら六名の研究者が、スライドを交えながら講演を行われた。最前列で聞いていた食物栄養学科管理栄養士専攻二年の松下純恵さんらは、「普通の講義だと日本のことだけになりますが、こうした講演を聞く視野が広がります」と感想を語っていた。

第二部では、石西 伸教授の司会で講演者全員によるパネルディスカッションが行われた。会場からの質問も交えて、アジアの食生活の問題点、そして日本はこれからどのように関わっていくべきかが討議された。

### 栄養士養成施設協会・ 保母養成協議会が表彰

栄養士課程または管理栄養士課程を優秀な成績で卒業する学生を、全国栄養士養成施設協会が毎年表彰しているが、今年も本学から三名の学生が会長表彰を受ける。また、全国保母養成協議会も保母養成課程を優れた成績で卒業し、保母になる学生を表彰しており、一名が会長表彰を受けることになった。表彰者は三月二十三日の卒業式において、山元学長からそれぞれ表彰状を手渡される。

- 受表彰者は次のとおり。
- 全国栄養士養成施設協会会長表彰  
大学食物栄養学専攻  
石橋 清子さん(右上)
  - (久留米大学病院 栄養士)  
大学管理栄養士専攻  
飯干 真紀さん(右下)
  - (久留米記念病院 管理栄養士)  
短期大学食物栄養科  
龍頭 慕花さん(左上)
  - (久留米大学病院 栄養士)  
全国保母養成協議会会長表彰  
短期大学幼児教育科  
平山あゆみさん(左下)



### 短大社会福祉部に 厚生大臣表彰

短期大学社会福祉部に「厚生大臣表彰」の知らせが入ったのは昨年十一月。学生課からの唐突な知らせに、部員たちはびっくりした。無理もない。部長を勤めた二年生の柴田慶子さん(食物栄養科)の話によると、一昨年は部員が二名までに減り、福祉活動どころか休部の危機にあったという。

厚生大臣表彰は、同部がこれまでボランティア活動を行ってきた重度心身障害児施設、久山療育園から推薦があったもので、部員は十年以上も同園で食事介助やおむつ整理などのボランティア活動を続けてきた。

柴田さんは「表彰の知らせにはびっくりしました。でも先輩達が続けてこられたことが褒められて、とってもうれしいです」と喜びを語った。部員は一・二年生あわせて十二人。昨年末は献血キャンペーンにも参加できるほど、活動も充実してきた。これからも同じ仲間として障害をもつ人々と生きていきたいという社会福祉部の活動が、この表彰を励みに一層充実することを期待したい。



元児童学科長

# 末松慶和先生ご逝去



末松慶和理事が十一月二十六日、肝臓がんのため入院先の病院で逝去。七十五歳だった。妙子夫人を喪主に末松家と学校法人中村学園による合同告別式が十二月一日、福岡市中央区の積善社福岡斎場で行われ、温厚で誠実だった故人を偲ぶ大勢の参加者が最後のお別れをした。末松理事は昭和二十四年三月、

九大法文学部を卒業。福岡学芸大(現福岡教育大)助教等をへて昭和三十五年四月、中村学園女子高校開校に伴い教頭として就任。四十四年四月から五十七年三月まで同校の校長、同年四月から平成元年三月まで中村学園大学教授の職にあった。平成元年四月、勲四等瑞宝章受彰。



1982年第11回ウィーン世界青少年音楽祭で、中村学園女子高校の吹奏楽部は総合優勝。ウィーン大賞を受賞した。クロージングセレモニーで市街をパレードする同部の先頭で、日章旗をもつ女子高校長時の末松先生。

故末松慶和先生を偲ぶ

本法人理事、元中村学園大学教授末松慶和先生のご逝去は、中村学園は勿論のこと、私にとっても痛恨極まりないことであった。先生が正式に中村学園に關係されるようになったのは昭和三十五年のことである。その年、本学園創立者中村ハルは女子高校を開設し、自ら校長に就き、理想的女子教育の実践に情熱を燃やしていた。ところが、肝腎の教頭が見つからない。この時、白羽の矢が立ったのが末松先生である。当時先生は福岡学芸大学(現教育大学)の助教であったが、中村ハルの懇望もだし難く教頭就任を承諾された。安定した国立大学から将来性未知の一私立高校に移られるについては、一大決断を要したことと想像される。その後、先生は女子高校校長に就任、次いで中村学園大学教授に転任された。今日の中村学園女子高校の発展は、中村ハルに続く先生のお力によるものと深く感謝している。

先生はまた、バラ作りの名人でもあった。見事な自作のバラをよく学校に持って来て飾っておられた。我が家の庭の花壇にも、先生から分けて貰った五株のバラの木があるが、因らざるも形見分けになつてしまった。先生を偲びながら大切に育て、美しい花を咲かせたいと思いを新たにしている。(理事長 中村 久雄)

## 海外学会発表

- 氏名・職名・専門分野  
訪問国 目的 期間
- 中村元臣教授(循環器内科学) アメリカ アメリカ心臓学会 研究発表およびポスター大会 学部との学術交流に伴う挨拶 11/14~21
  - 阿部志磨子助手(循環薬理学) アメリカ アメリカ心臓学会 研究発表 11/14~21
  - 石西 伸教授(公衆衛生学) アメリカ 第9回Health Effects Institute年次総会における研究発表 12/4~9

## 研究助成金

- 松尾智則講師(比較教育学) (財)アジア太平洋センターより、海外現地調査「韓国高等教育の発展構造に関する研究」に対して十萬一千四百五十円を助成。(平成四年十二月十九日付)

## おめでとございませう

福岡県私立学校教育功労者表彰 児童学科 幼児教育科 富崎 望教授 福岡県の私学の発展、向上に功績があったとして表彰。十一月十七日、福岡県知事から表彰状と記念品が贈呈された。

## 大学院紹介(5)

臨床栄養学部門

### 現況と到達目標

当部門では筆者(中村)が主に動脈硬化と突然死について、伊藤和枝教授が血圧調節(高血圧)について、阿部志磨子助手がこれらに共通した課題として血管壁カルシウム(Ca)とマグネシウム(Mg)代謝を研究しています。近年、日本人若年者が摂取している日常食は、標準食に比して動物性脂肪が多く、粗繊維、Mgカリウム(K)が少ないと言われています。また、日本人で動脈硬化による心臓血管病が増加し、東京都の高校生の血清総コレステロール濃度が、世界一高いことが注目されています。この様な背景から、伊藤教授らは、主として若年者ならびに中高年者を対象に、食塩摂取量を同量にして高繊維食を与えた場合と、Kを負荷した場合、いずれの場合にも血圧の低下を認めております。さらにK負荷と高繊維食のいずれの場合も、血清Mg濃度の有意の上昇を認められ、KのみでなくMgの影響が考えられています。現在食塩の過剰摂取が血圧上昇を起こすとされ一日10g以下を目標とした

にMgを経口負荷した場合、単純にMg負荷前後を比較した時と、二重盲検クロスオーバー法で比較した時で研究結果が異なることを学習し、いかに研究のプロトコルの作り方が大切かを体得しました。筆者は、乳幼児突然死症候群との関連が注目されているMg不足について、次のような成果を得ました。即ち、幼若ラットにMg欠乏食を与え、易刺激性を認める煩音刺激を与えて全身けいれん、不整脈、突然死の発作を誘発出来ること、これらの発作は脳のNメチルDアスパルテートの受容体を遮断することにより完全に防止し得ること等を認めています。従来、人のMg代謝の研究が進んでいない大きな理由として、血清Mg濃度の自動測定が出来なかつたことがあげられます。Mgの一日摂取量は約3mgが望ましいとされていますが、幼若者、高齢者、妊婦、糖尿病、虚血性心臓病、高血圧、不整脈や心不全、腎不全等の患者でMgとCaについての様な食事管理をすべきかについては明らかにされていません。今後の研究の進展が望まれます。当部門では病院や保健所等に就職された栄養士が、医師や看護婦と対等に疾病の治療や予防について討議し共同作業が出来

る能力と、適確な食事管理を行なう能力をつけること等を到達目標としています。筆者が顧問をしている私立総合病院三信会原病院(五〇〇床)の循環器内科と共同研究をしている牧山嘉見君(大学院一年生)の言葉を次におくります。「現在私は入院患者のKとMg代謝異常について研究しています。高血圧や心不全で利尿剤を投与されている患者では、血清K濃度が低下しジギタリス中毒や難治性不整脈を起こし易いことが知られています。しかし、Kを補給しても治療効果があがらないことがあり、Mgの補給によってKも正常化し、難治性不整脈を改善すると報告されています。この他、Mg不足によって狭心症発作が起こり易くなるともいわれています。Mg代謝異常と循環器疾患との関係を明らかにし、最終的には循環器疾患の治療食の改善を目標としています。栄養士として必要とする医学的知識は多く、またその進歩は速く広範囲にわたっています。そのような勉強、研究方法の基礎的なことを学ぶ必要があり、文献を読み理解することが大切であります。このため、当部門では毎月ゼミナーが行なわれています。(教授 中村元臣)

## ゼミ生と一緒に

### 高齢者のためのヘルシーメニューを作成

世は、まさにグルメブーム。グルメメディアでは毎日のようにグルメの情報が流れ、書店にはさまざまな料理書が並び、これだけ「食」に対する関心が高いのに、高齢者のための料理書は少ない。

家政科の三成由美講師(調理学)は、ゼミの学生とともに、高齢者のためのヘルシーメニューをテーマに作成し、グラビアの料理ではない、日常多く作られているメニューを選別。ポトムアップ的に四季折々のオリジナルメニューを考案しているが、一昨年青、福岡市市民福祉公社から依頼を受けたのをきっかけに、高齢者のためのメニュー作成にゼミの学生と一緒に取り組んでいる。

「高齢者の健康レベルは、食生活などのライフスタイルが大きく関与しますから、若い学生が「食」について考える良いチャンスです。一年間一緒に情熱を燃やして取り組んだ成果が、一冊の小



冊子として残るのは素晴らしい、とにかく自分達の成果が社会に還元できる。これは学生にとつて最高の励みですよ」と語った。

学生の食に対する意識は、最初の頃に比べてずいぶん変わってきた。毎週一回、土曜日のゼミの時間を利用して、作成したヘルシーメニューを全員で作成し、試食し、和気あいあいとまとめていったそうだ。

昨年四月に、第一編として「すこやかに快適な食生活」を調理の基本編として出版。福祉公社から、福岡市のホームヘルパー約千五百名に配布された。調理操作がイラスト化され、わかりやすいので楽しく作れると好評だそうだ。

現在は第二編として、高齢者個人個人の嗜好を考慮したヘルシーメニューを作成中。三成講師は、「柔らかくて味気ないイメージの調理品を、食べておいしく、しかも経済的にスピーディーに簡単に作れる料理に、若い学生と共におしゃれに仕上げたい。『食べておいしい』と感じることは健康の証しです」と語った。おいしさと健康を意識した高齢者のメニュー書は七月頃に完成予定。

# 退職される方々からメッセージ



## 健康増進時代の幕明け

食物栄養学科・食物栄養科  
教授 今村英夫



「光陰矢の如し」とはまことに言葉のとおり、中村学園大学に職を奉じて九年が過ぎました。私は昭和五十二年、福岡市の保健所で栄養・運動を総合した健康増進事業を、我が国で最初に開設しました。以来、その必要性は年と共に高まり、新しい管理栄養士制度も確立されました。私が受けた学生卒論は一貫して、栄養と運動による成人病の一次予防でしたが、昭和六十二年に、本学が当番校となった全国栄養士養成施設の研修会では「健康増進と運動処方の実践」をテーマで引受けることになり、運動処方、実技指導に重点をおいたプログラムを組みました。卒業生を特訓して、ストレッチ体操、運動負荷テスト、体力評価、運動処方に基づくウオーキング等々のデモンストレーションをしました。中村学園大学の實力をみせるのはこの時ぞと、真紅のジャージを描入、リハーサルも万全で、当日の学生のキビキビした動作は今でも私の目に鮮やかによみがえります。後で樋口教授から聞いたのですが、某大学の教授から、「中村学園には体育学部があるので、か？うちの体育学部学生よりよっぽど上手だ」とおほめの言葉を頂いたとのことでした。学生も優秀で卒論の経験を生かし、健康増進関係の職場に進出した卒業生も十指に余る程です。中村学園大学の伝統として、健康づくりに強い大学として、今後も発展して頂きたいとお願いいたしております。

## 心血そそいだ教育課程の改訂

児童学科・幼児教育科  
教授 富崎望



本学に昭和五十二年から奉職いたしました。早や十六年の歳月が過ぎました。特に心に強く残ることは、三度にわたる教育課程の改訂であります。着任して三年目に児童学科の専攻分離に伴う改訂、次は教員免許法の改正による改訂、そして現在は大学設置基準の改正により三度目の改訂作業が進められております。その都度、苦勞はありましたが、この度は設置基準が大綱化されて、特に本学の独自性のある教育を目指し、改善

とは感謝のほかありません。また、卒業生が幼稚園、保育所、小学校で、あるいは地域の多くの職場でそれぞれに活躍し、立派な仕事をしていることを耳にすることは何よりも嬉しいことだと思います。在任中、多くの方々に出会い、教えを頂き、またご交誼を賜りましたことを心からお礼申し上げます。最後にになりましたが学園の発展と皆様のご健康とご活躍を祈念いたし、退任のことばをいたします。

## 学園飛躍の四年を過ごす

法人本部  
総務部長 松本茂昭



ことしも本館前のこぶしは枝いっばいの蕾をつけ、早春の陽に輝やいています。そして日一日と大きさを増し、別離と出合いの季節の到来を告げています。

平成元年四月本学園にお世話になってわずか四年の短い年月ではございましたが、公務員経験しかなかった私には始めての民間での勤務であり、毎日が新鮮で、充実した日々を過ごさせて頂くことができました。そして、この期間は中村学園にとりまして、将に飛躍と伸長の時期であったと存じます。

西一号館の建設と大学院の開設をはじめ、多くの学校施設の建設整備、女子高校創立三十周年、女子中学校開校等々、慶祝行事の連続でした。学生・生徒・園児数も現在では六千八百人に達し、総合学園としての基盤を強固なものとししました。法人本部に籍を置いた者としてことに喜ばしく、幸せな時期に勤務させて頂いたことを感謝しています。

また、職務の面はおきまして、理事長先生には福岡県私学協会以来ご懇篤な指導を賜り、学園各学教科職員、就中事務職員の皆様からは積極的なご協力と暖いご支援を頂き楽しく勤務させて頂きま

## 別れにあたり

児童学科・幼児教育科  
助教授 田中孝志



本年三月末日で中村学園を去り、四月一日付で西南学院大学に移ることになりました。九年前に九州大学教育学部から移って来て以来経験したさまざまなことが思い出されます。講義のこと、ゼミのこと、宿泊研修のこと

など、教育や実務に関わるさまざまな経験をさせて頂きました。赴任当初、まだ若く、経験も浅かった私も九年前のこの経験によって私学の厳しさを知るとともに、私学教員として仕事をやっていく自信をもつことができるようになりました。これはこれからの私にとって何よりの財産になることと思えます。

中村学園を去るにあたって一番思い出されるのは、やはり自分が担当した学生たちのことです。特に、少人数で交流する機会の多いゼミ生たちの記憶は印象深く残っています。それぞれが自分のやりたいテーマに独自のやり方で取り組んで卒業論文を完成し、卒業していききました。彼らの卒業の時、つくづく大学教員になって良かったと感じたものです。

これからの学生諸君に望みたいのは、これらの先輩のように、自分のやりたいことを発見し、それを実現するための努力を惜しまないでいただきたいということです。「必要」だからではなく、「やりたいから」やることの方がずっと楽しく身につくと思えます。では、皆さん、お元気で。

## 図書館の思い出

図書課長  
平川友視



来る三月末で、中村学園職員としての定年を迎えることになりました。本学が最後になりましたが、私は昭和二十五年以来、大学図書館一筋に勤めてまいりました。数えてみると四十二年余にも

なりませんが、アツと言う間に過ぎ去った思いで、今更ながら歳月の流れの速さを感じています。さて、昭和六十二年の四月から六年間お世話になりました本学の図書館は、本学の研究、教育を支

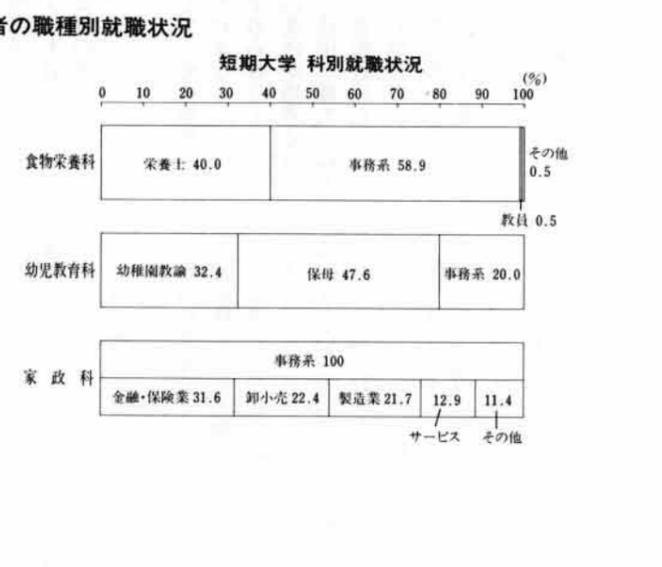
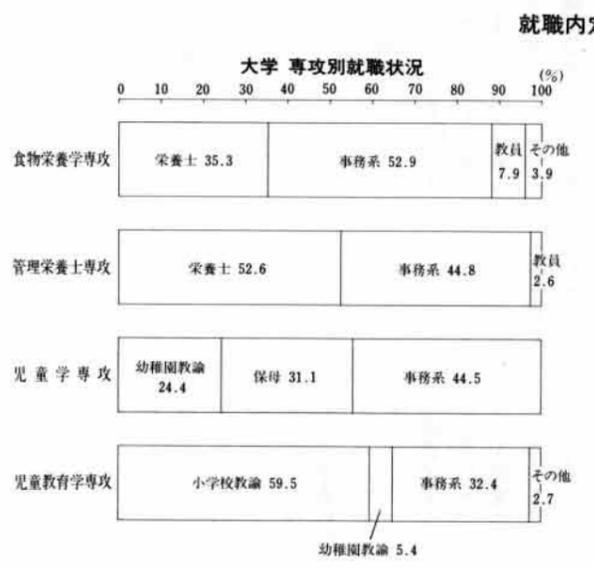
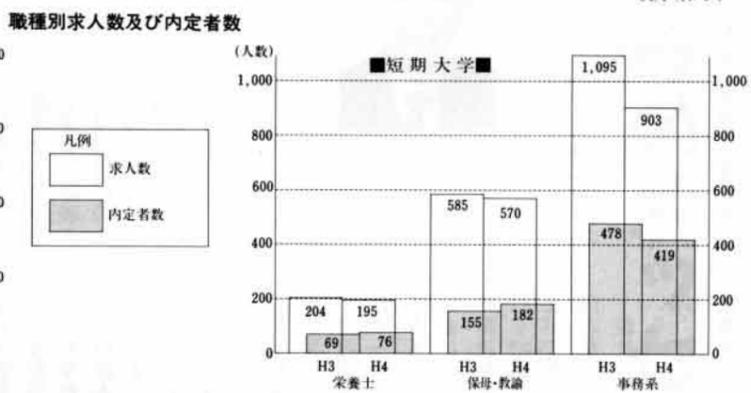
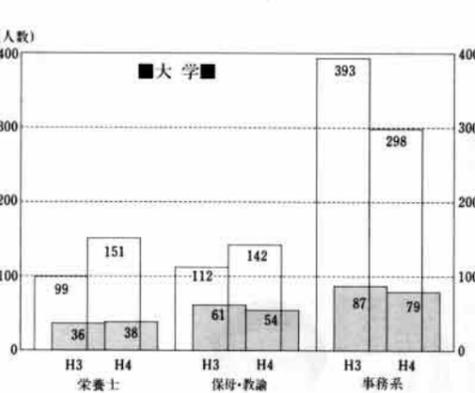
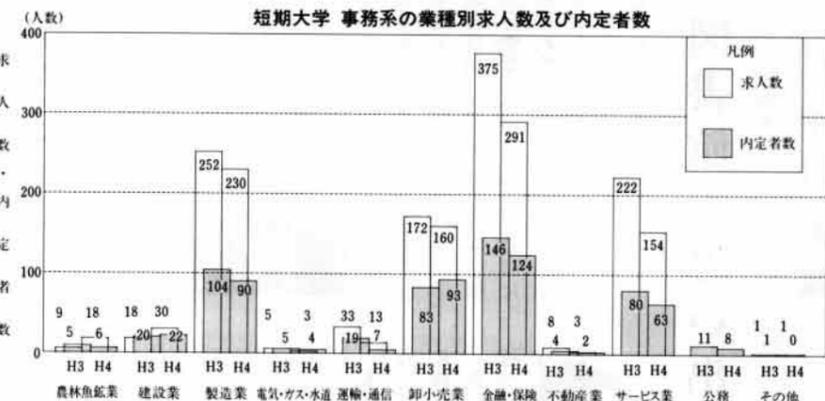
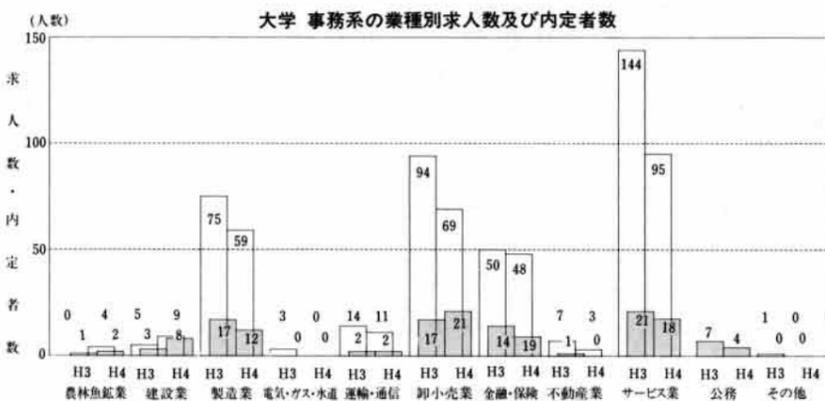
援する機関として、その機能の向上が要請されていましたが、大学の自己改革が求められるようになって一段とその度合が顕著となってきました。在任中、微力ではありましたが、図書館近代化のための新設や電算化計画に参画し、これまで培ってきた知見を活かすことができましたことは一番の思い出となりました。

設計や引越しの時の苦勞など、いろいろありましたが、とりわけ、書誌情報の入力については、類例がない自力入力をしましたの

で本当に大変でした。半面、館員全員が孜孜として働いた日々が、今では懐しく感じられます。また、昨年末からはJOIS・DIALOGと同様に学術情報センター所蔵のDBも検索可能となりました。そして、新年度からは入館システムがスタートします。いよいよ、お別れすることになります。これから先も図書館がますます発展し、教職員や学生の皆さんに大いに利用していただけることを祈ってご挨拶いたします。

グラフに見る平成四年度就職状況

製造、金融・保険、サービス業は  
バブル不況の影響をうける  
栄養士・保育など専門職は安定



Dramaticキャンパス  
—この1年の動き—

平成4年4月  
4日 入学式(大学生三百四十五名、短大生八百五十七名、計千二百二名が入学)  
6日 新入生オリエンテーション(7日)  
8日 大学・短期大学講義開始  
10日 大学院入学式(四名入学)  
13日 大学院講義開始  
15日 新入生宿泊研修(18日)  
9日 就職に関する父母連絡会(6/14)  
15日 学園創立記念式典  
17日 ポストン大学医学部との学術交流協定締結  
30日 学園創立記念日  
17日 学園創立記念日  
1日 第一回リーダー研修会(31日)  
1日 中学校・高等学校教育実習(13日、大学食専4年)  
15日 学校給食・事業所実習(6日、大学食専・管専3年)  
15日 施設実習(24日、大学児専4年)  
1日 附属幼稚園実習(27日、大学児専3年)  
1日 外部幼稚園実習(27日、短大幼教2年)  
1日 養護施設実習(24日、大学児専4年)  
1日 就職求人票公開  
13日 栄養科学研究所・食物栄養

15日 学科主催食文化講演会(講師・ライオン倶楽部 科学研究所主任 研究員 武政三男氏)  
15日 前期講義終了  
20日 前期試験(8/4)  
31日 キャンパス公開  
1日 施設実習(9/12、短大 幼教2年)  
1日 「海外語学研修とアメリカ文化の旅」出発(28日、大学8名、短大13名参加)  
4日 全国私立短期大学体育大会(7日)  
7日 本学主催進学説明会(8日)  
17日 病院給食実習(29日、短大食物2年)  
31日 事業所給食実習(9/5、短大食物2年)  
12日 病院給食実習(9/12、大学食専、管専3年)  
1日 保育所実習(11日、大学児専3年)  
10日 情報処理センター夏期講習会(18日)  
12日 公開講座(10/24)  
16日 秋季大学院入試  
21日 後期講義開始  
26日 小学校教育実習(10/24 大学児教3年)

26日 後援会地区連絡会開始(10/25日)  
後期リーダー研修会(27日)  
3日 セミナーハウス「ほくさん」落成式  
6日 付属幼稚園教育実習(20日、大学児教4年)  
9日 幼稚園教育実習(20日、大学児教4年、短大幼教2年)  
6日 保育所実習(17日、大学児専3年)  
12日 保健所実習(17日、大学管専4年)  
11日 大学推薦入試  
6日 第26回霜月祭(8日)  
7日 大学推薦入試合格発表  
11日 第一回アジア栄養科学ワーキングショップ開催  
4日 児童学科主催学内演奏会

11日 栄養科学研究所主催講演会  
12日 リーダー研修会(13日)  
19日 大学管専卒業研究発表  
24日 講義終了  
8日 講義開始  
25日 講義終了  
1日 大学一般入試  
2日 短大一般入試(食物・幼教)  
3日 後期試験(17日)  
5日 大学・短大一般入試合格発表  
17日 児童学科主催特別講演会(講師・今給黎教子)  
21日 就職に関する父母連絡会開始(3/13)  
22日 大学児童学科卒論発表(23日)  
26日 大学食専卒論発表  
1日 保育所実習(16日、幼教一年)  
23日 大学院修了式(三名修了)  
24日 大学・短大卒業式(大学生二百四十二名、短大生八百四十五名、計千八百七名卒業)  
24日 謝恩会(大学・短大食物)  
25日 謝恩会(H・日航福岡)  
25日 謝恩会(H・ニューオータニ)  
25日 謝恩会(H・セントラザ)  
25日 大学児童(西鉄ソラリアH)



Campus 往来

11・17 雑誌「暮らしの手帳」の表紙絵で有名なフランスの画家、クレール・アステックスさん(喫茶室の作品の前で)  
12・9 フィンランドからサンタクロース、あさひ幼稚園へ  
12・12 中国遼寧省高等教育学会長 張知遠氏一行、本学園各学校を視察  
外国人研究員として  
2・17 マレーシア、マラヤ大学教育学部 Leonard M. S. Yong 准教授が五月十六日まで滞在。権藤與志夫教授の指導で「十三才の日本の子供における創造性」について福岡市内外の学校調査を行う。

# ＝キャンパス周辺＝ MAP

